

小瀬キッズ 地域の小学生との交流を深めよう！

8月7日（水）、地域の小学生を対象とした交流活動「小瀬キッズ」を開催しました。近隣小学校から8名の児童と保護者の方の参加がありました。水分補給や休憩など熱中症対策を講じながら活動しました。

校長先生からは、「いろいろな体験を通して**小瀬高校の魅力**を体感してってください」というお話がありました。実際に“目で見て、触れて…”五感を使って学ぶ体験は人生を豊かにしてくれます。小瀬高校には、ゲームやバーチャルの世界では味わえない“本物”がありましたね。これからも小瀬キッズでは、「体験」を通した小学生と高校生の異学年交流も大切にしていきたいと思います。

ご参加いただいた小学生・保護者の皆さん、ご協力いただきありがとうございました。



理科の実験では、液体窒素を使って「マイナスの世界」を体験しました。実際にバラの花やボール、風船などを凍らせ、どのような変化があるかについて考えたり、凍ったバナナで釘を打ったりしました。また、液体窒素で凍らせたポップコーンを実際に食べると…鼻や口から出る水蒸気にビックリしていました。

“驚き”と“不思議”が満載の理科実験コーナーでした。



「折り紙で季節を表現しよう」をテーマに折り紙体験に取り組みました。小瀬高校では、家庭科・保育の授業で取り扱っています。3つのグループに小学生と高校生が分かれ、高校生がサポートしながら折り紙で魚を折り、夏らしい作品を仕上げました。集中して大ききの違う魚を折り、水槽のようにできあがった人が多かったです。折り紙を通して地域の子どもたちの交流が深まった体験コーナーでした。

継承と開拓～ここにしかない ここだからある～